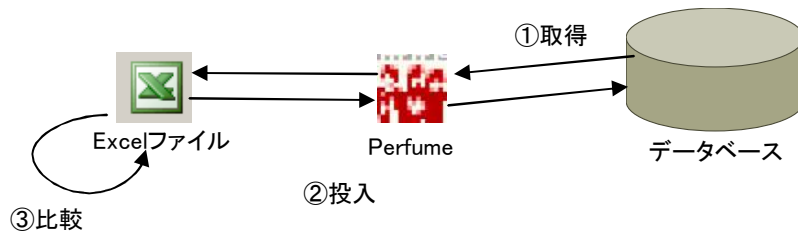


もくじ

はじめに
処理区分ごとの解説
Excelファイル解説(1)
Excelファイル解説(2)
Excelファイル解説(3)
設定ファイル解説
その他の解説

- このマニュアルについて
Perfumeの操作を習得するために、まずは『Quickstartガイド』を参照し、デモ体験することをおすすめします。
このマニュアルではPerfumeの詳細な使い方や設定方法を解説します。

- Perfumeの概要
Perfumeはデータベースのデータを手軽に扱うことのできるツールです。
大きく分けて3つの機能を持ちます。
 - ① データベースのデータを取得する
 - ② データベースにデータを投入する
 - ③ データを比較する



Perfumeを利用すればアプリケーションのテストデータ作製～テスト実施～エビデンス取得を簡単に行うことができます。
また、エビデンスファイルからデータベースへの投入が簡単に行えます。

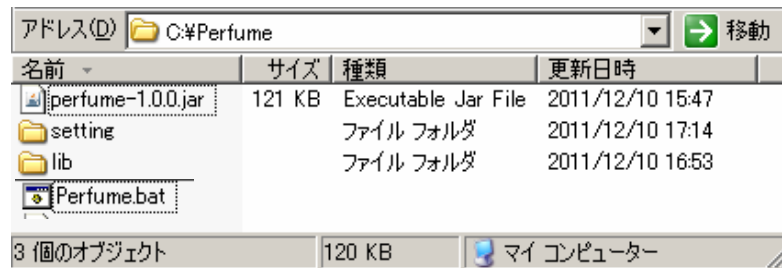
- Perfumeの利用要件
Perfumeを利用するには、クライアントコンピュータにJava実行環境が必要です。
Perfumeは以下の環境で動作確認を行っています。

クライアントOS	Windows XP Professional Version 2002 Service Pack 3
Java Runtime Environment	Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.6.0_24-b07) Java HotSpot(TM) Client VM (build 19.1-b02, mixed mode, sharing)
Excel	MS Excel 2003 SP3
PostgreSQL	PostgreSQL 8.3.11 (Windows)

PerfumeはクライアントのJavaVM上で動作します。
限界性能は未測定ですが、列数・行数の大きなテーブルを扱う際は著しく動作が遅くなったり、処理が完結しないなどの事象が発生する可能性があります。

■ ツールの起動

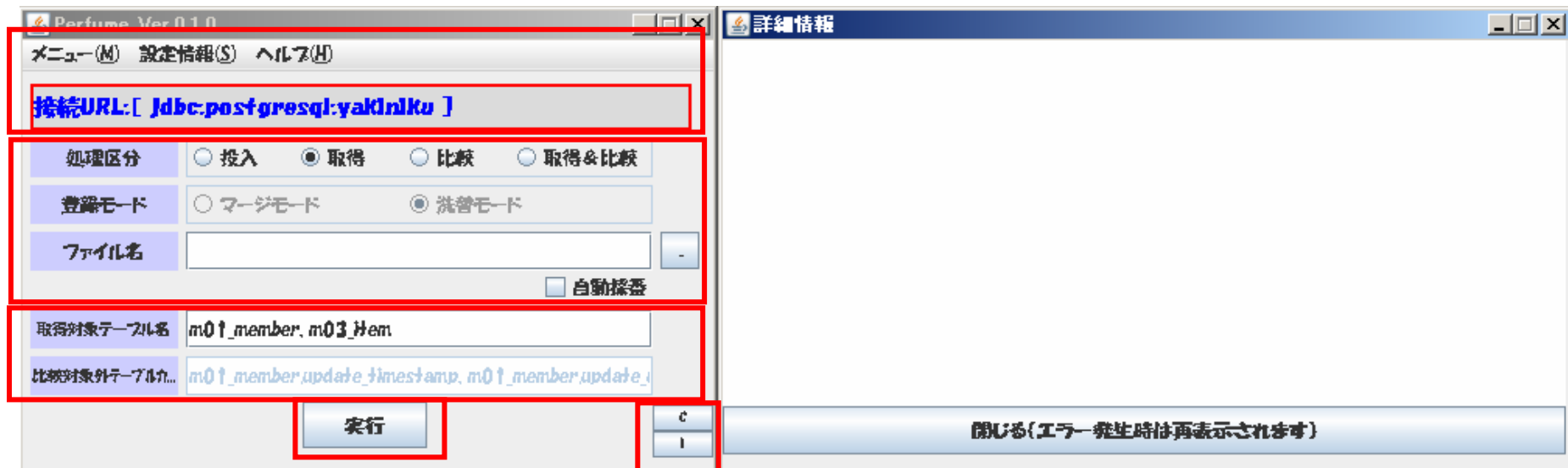
C:\¥Perfume に以下のようにファイルを配置します。



perfume-1.0.0.jar アプリケーション本体です
 setting アプリケーションの設定ファイルが入ったディレクトリです
 lib アプリケーションが利用するライブラリ(jarファイル)が入ったディレクトリです
 Perfume.bat アプリケーション起動用スクリプトです。
 アプリケーション起動用スクリプトをダブルクリックして起動すると、2つのウィンドウが表示されます。

メインウインド

インフォメーションウインドウ



メインウインドウ		
メニュー	クリア 終了	ツールを初期状態に戻します。 ツールを終了します
設定情報		(未実装)
ヘルプ	バージョン情報	ツールのバージョンを表示します。
接続URL		現在設定されているデータベース接続先URLを表示します。
処理区分 登録モード		「処理区分ごとの解説」ページで詳細を解説します。 //
ファイル名		入出力対象のExcelファイル名を指定します。右側のボタンからファイル選択ダイアログを開くことができます。 また、Windows上の任意のファイルをドラッグ&ドロップで選択することができます。
自動採番 (チェックボックス)		取得モード時、ファイル名の自動採番をする際にチェックします。
取得対象テーブル名		取得モード(取得&比較モード)時に対象とするテーブル名を指定します。
比較対象外テーブルカラム名		比較モード(取得&比較モード)時に比較対象外とするテーブル名、カラム名を指定します。 全テーブル名およびテーブル自体を比較対象外とする場合、「*」で記載する。 例1) m01_member.member_id → m01_member テーブルのカラム member_id を対象外とする 例2) *.upd_ksu → 全テーブルの カラム upd_ksu を対象外とする 例3) m01_member.* → m01_member テーブルの全カラムを対象外とする
実行 C/Iボタン	C I	処理区分で選択した処理を実行します。 インフォメーションウインドウのメッセージをクリアします。 インフォメーションウインドウの表示/非表示を切り替えます。
インフォメーションウインドウ インフォメーション 閉じる		処理状況や問題が発生した場合のツールからのメッセージを表示します。

TIPS

ファイル選択はドラッグ & ドロップに対応していません

- 処理区分
- 投入 ファイル名で指定されたExcelファイルからデータを読み取り、データベースに投入します。
対象テーブルはExcelファイルの“INPUT”シートに記述された全テーブルです。

- ◇ 投入処理時のモード選択
- マージモード データベースのデータを残した状態で、Excelファイルのデータを追加します。
既にデータベースに存在する行はExcelファイルの値で上書き更新されます。
Excelファイルに定義されていない列は更新されません。

TIPS

既存のデータかの判定方法は？
→内部でテーブルメタデータを参照して
主キーを判別しています

洗い替えモード データベースの既存のデータを全て削除し、Excelファイルの全データを投入します。

- 取得 「取得対象テーブル名」に指定されたテーブルのデータを取得します。
全行、全カラムが対象になります。取得したデータは“OUTPUT”シートに出力されます。

自動採番 「自動採番」チェックボックスをONにすると、ファイル名に“_”+連番を付与します。
連続でテストエビデンスを取得する際に利用します。
連番は1～999となります。

例)

ファイル名指定	C:¥evidence¥result.xls
実行結果	C:¥evidence¥result_001.xls
	C:¥evidence¥result_002.xls
	C:¥evidence¥result_003.xls
	...

※自動採番利用時の注意

- ・ ファイル名に指定したフォルダ内の同一ファイル+“_”+連番 を持つファイルに対して番号を加算します。
- ・ ファイル名には“_”を指定しないでください。

- 比較 「ファイル名」で指定されたExcelファイル上の“INPUT”シートと“OUTPUT”シートを比較します。
比較結果は「ファイル名」で指定されたExcelファイルの“DIFF”シートに出力されます。

- 取得&比較 データベースからデータを取得して“OUTPUT”シートを作製します。
その後、ファイル上の“INPUT”シートと“OUTPUT”シートのデータ比較を行います。

OUTPUTシートの解説

A列 "TABLE"マーク
B列 テーブル物理名
C列 テーブル論理名

"TABLE"マークの
1行下 カラム論理名
(データベースに定義されたテーブルコメントから取得できない場合は空白)

TABLE m01_member M01_会員マスタ

	会員No	会員名	会員種別	郵便番号	住所 1	住所 2	電話番号	FAX	備考
	member_no	member_name	member_type	zip_cd	address1	address2	tel_no	fax_no	notes
1	0000000001	花田さんさんさん	1	123-4567	〇〇県 **市△△区	□□町 1 2 - 3 4	012-345-678	012-345-678	備考
2	1000000001	梅さんさん	1	123-4567	〇〇県 **市△△区	□□町 1 2 - 3 4	012-345-678	012-345-678	備考
3	2000000001	えの	1	123-4567	〇〇県 **市△△区	□□町 1 2 - 3 4	012-345-678	012-345-678	備考
4	2200000001			8-4567	〇〇県 **市△△区	□□町 1 2 - 3 4	012-345-678	012-345-678	備考

主キーは赤太字で表示されます

TABLE m03_item

	item_seq	item_no	item_name	item_type	stock_count	sub_id	version	regist_date	create_user
1	1	RX-79	GUNDAM	AA	10.50	1	2	2011-01-11	FEDRAL_EARTH
	3	3	MS-05	ZAKU	AA	10.50	<NULL>	2011-01-11	ZEON

NULL値は"<NULL>"(半角大文字)で表現します。
これはツールの予約語のため、この値をデータとして投入することはできません。

END

INPUTシートの解説

A列に“TABLE”を記述することで以下をテーブルと認識します。
B列にはテーブル物理名を記述します
C列 論理名の記入は任意です。

“TABLE”宣言の1行下カラム論理名の記入は任意です。
2行下には必ずカラム物理名を記入してください。
存在しないカラム名を記述した場合は無視されます。

TABLE m01_member M01_会員マスタ

	会員No	会員名	会員種別	郵便番号	住所 1	住所 2	電話番号	FAX	備考
	member_no	member_name	member_type	zip_cd	address1	address2	tel_no	fax_no	notes
1	0000000001	花田さんさんさん	1	123-4567	〇〇県 **市△△区	□□町 1 2 - 3 4	012-345-678	012-345-678	備考
2	1000000001	榊原さんさん	1	123-4567	〇〇県 **市△△区	□□町 1 2 - 3 4	012-345-678	012-345-678	備考
3	2000000001	えのっと	1	123-4567	〇〇県 **市△△区	□□町 1 2 - 3 4	012-345-678	012-345-678	備考
4	2200000001	花田さんさんさん	1	123-4567	〇〇県 **市△△区	□□町 1 2 - 3 4	012-345-678	012-345-678	備考

複数テーブルを指定する場合は、2行空けてください。

TABLE m03_item

	item_seq	item_no	item_name	item_type	stock_count	sub_id	version	regist_date	create_user
1	1	RX-79	GUNDAM	AA	10.50	1	2	2011-01-11	FEDRAL_EARTH
3	3	MS-05	ZAKU	AA	10.50	<NULL>	1	2011-01-11	ZEON

END A列に行番号を指定した場合のみ、データ行として認識します。
空白以外であればセルの内容は問いません。
空白の場合はその行は無視されます。

NULL値は“<NULL>”(半角大文字)で表現します。
これはツールの予約語のため、この値をデータとして投入することはできません。

テーブル記述から2行空け、A列に“END”を記述すると、それより上をテーブル、行情報と認識します。
“END”より下の行の値は無視されます。

基本的な記述方法はOUTPUTシートと同じです。
取得モードで得られたOUTPUTシートをコピーしてINPUTシートとして利用すると簡単確実に記述することができます。

■書式について

セルの書式	説明
日付、時刻	DBの型がDate 内部でフォーマットを自動識別し、DBへ投入する。
	上記以外 表示されている内容でDBへ投入する。
数値	DBの型が数値 内部でフォーマットを自動識別し、DBへ投入する。
	上記以外 表示されている内容でDBへ投入する。
文字列	DBの型がDate なんとかする。
	上記以外 表示されている内容でDBへ投入する。

DIFFシートの解説

ヘッダ部のみで列が記述されない場合は
INPUTシートとOUTPUTシートに差異はありません。

TABLE m01_member M01_会員マスタ

会員No	会員名	会員種別	郵便番号	住所 1	住所 2	電話番号	FAX	備考
member_no	member_name	member_type	zip_cd	address1	address2	tel_no	fax_no	notes

TABLE m03_item

	item_seq	item_no	item_name	AA	10.50	1	2	regist_date	create_user
UPDATE	1	RX-79	GUNDAM	AA	10.50	1	2	2011-01-11	FEDRAL_EARTH
			GUFU						
DELETE	3	MS-05	ZAKU	AA	10.50	<NULL>	1	2011-01-11	ZEON
INSERT	2	MS-05	ZAKU	AA	10.50	<NULL>	1	2011-01-11	ZEON

更新行
A列に“UPDATE”が表示されます。
現在の値(“OUTPUT”シート)が上段に表示されます。
以前の値(“INPUT”シート)が下段に表示されます。

削除行
A列に“DELETE”が表示されます。
以前の値(“INPUT”シート)が表示されます。

追加行
A列に“INSERT”が表示されます。
現在の値(“OUTPUT”シート)が表示されます。

END

■ 設定ファイル詳細

Perfumeの設定ファイルは標準インストールでは以下の3種類です。

C:¥Perfume¥setting

```
├ ev_setting.xml      イベント
├ pj_setting.xml      プロジェクト
└ tool_setting.xml    ツール
```

起動時の画面設定の内容が記録されています。

データベース接続情報など、開発プロジェクトに固有の情報を記述します。

表示フォントなどツールの設定を記述します。

設定ファイルディレクトリを変更する場合は、アプリケーション起動用ファイルの記述を変更します。

```
rem Perfumeを起動する。第一引数には設定ファイルのパスを指定
start javaw -jar perfume-1.0.0.jar C:¥Perfume¥setting¥
```

■ ツール設定ファイル

設定ファイル名: tool_setting.xml

項目論理名	物理名	内容	デフォルト値
ツール設定	perfume/scope/tool		
接続NG	connection_ng		
スキーマ	schemas		
名称	name	接続を禁止するスキーマ名のパターン(正規表現)	(なし)
テーブル	tables		
名称	name	接続を禁止するテーブル名のパターン(正規表現)	(なし)
入力シート名	input_sheet_name	入力シートの標準名	INPUT
出力シート名	output_sheet_name	出力シートの標準名	OUTPUT
比較シート名	compare_sheet_name	比較結果出力シートの標準名	DIFF
作業ディレクトリ	work_dir	Perfume実行時にExcelを触る際に元ファイルをコピーするディレクトリ	C:¥Perfume¥work¥
プロジェクト設定	perfume/scope/project		
設定ファイルパス	setting_file_path	プロジェクト設定ファイル名	pj_setting.xml
イベント設定	perfume/scope/event		
設定ファイルパス	setting_file_path	イベント設定ファイル名	ev_setting.xml

■ プロジェクト設定ファイル

設定ファイル名: pj_setting.xml (変更可能です)

項目論理名	物理名	内容	デフォルト値
プロジェクト設定	perfume/scope/project		
データソース設定	datasource	CommonsDBCPの設定に必要な設定値	
タイプ	type	"Postgres","Oracle","MyMSQL","DB2","SQLServer"	
ユーザ	username	JDBC接続のユーザ名	
パスワード	password	JDBC接続のパスワード	
JDBC URL	url	JDBC接続のURL	

ドライバ名	driver_class_name	ドライバクラス名をFQCNで記述	
スキーマ名	schema_name	スキーマ名	
接続オプション	connection_properties	JDBC3の場合は serverName, databaseName, portNumber, user, password, defaultAutoCommit, dataSourceName, initialConnections,	
	property	プロパティタグの属性値として以下を設定する。 name="オプション名" value="値" <property name="", value="" />形式	
比較対象外	dont_look_me		
テーブル項目名	table_column_name	比較対象外テーブル名. 項目名 全テーブル名およびテーブル自体を比較対象外とする場合、「*」で記載する。 (ex: m01_member.member_id) (ex: *.upd_ksu)	

■ イベント設定ファイル
設定ファイル名: ev_setting.xml

項目論理名	物理名	内容	デフォルト値
イベント設定	perfume/scope/event		
処理区分	action_pattern	投入、取得、比較、取得&比較のいずれかの処理区分。 REG/GET/CMP/GET_CMP	REG
モード	reg_mode	洗い替え、マージのいずれかのモード。 REPLACE/MERGE	MERGE
出力ファイル自動採番	output_file_auto_numbering	出力ファイルに番号を自動的に付加していくフラグ。	false
抽出対象	want_you		
テーブル名	table_name	対象テーブル名 (ex:m01_member)	
比較対象外	dont_look_me		
テーブル項目名	table_column_name	比較対象外テーブル名. 項目名 全テーブル名およびテーブル自体を比較対象外とする場合、「*」で記載する。 (ex: m01_member.member_id) (ex: *.upd_ksu)	
抽出条件	select_conditions		
指定テーブル名	condition	抽出条件を指定するテーブル名 <condition table="テーブル名">抽出条件</condition>	

■ カラム型について

現在、Postgres版で利用できるのは以下のカラム型に限ります。

真偽値	bool
固定長文字列	bpchar
可変長文字列	varchar
数値	int4
	int8
	numeric
日付	date
タイムスタンプ	timestamp

■ トラブルシューティング

よくある質問とその回答です

Q DBIに接続していない環境で、比較モードだけを利用することはできませんか？

A できません。データベースのカラム名などにDB接続を利用しています。

Q 取得モードで取得対象行を特定すること(WHERE句 のイメージ)はできませんか？

A できません

■ 既知の問題点

・ カラム数、行数の限界

取り扱えるデータ量はExcelファイルの仕様(列数、行数)に依存します。

・ テーブル以外のオブジェクトに対応していない

ビュー、シノニムなどテーブル以外のオブジェクトに対してテストを行っていません。

・ 指定フォントの種類によっては表示が崩れることがある

・ ファイルが破壊される可能性。

Excelファイルを直接編集しているため、何らかの不具合が発生した場合、対象ファイルが破壊される可能性があります。

→ 重要なファイルはコピーを利用するなどしてください。